

=====

アレルギー支援ネットワーク 通信 (仮称)

=====

NO.6 2007.6.

*-**

このメールマガジンは、アレルギー支援ネットワーク会員のみなさまへお送りしています。

*-**

アレルギー支援ネットワーク通信6号をお届けします。日によっては日中が暑い日も多くなりました。爽やかな初夏のような季節ですね。虫刺され、紫外線対策はしていますか？皆さんは、どうお過ごしですか。アレルギー支援ネットワークでは、恒例により今年も5月20日よりアレルギー大学も開校致しました。どうぞご参加下さい。では、アレルギー支援ネットワーク6号をお届けします。

★---☆ も く じ ☆-----★

1. テーマ「アレルゲン表示」その2
2. アレルギー支援ネットワーク理事の声
ーその6ー 園木理事から みなさまへ
3. 会員からみなさまへ
4. 賛助会員からのメッセージ ー積水化学工業株式会社ー
5. 事務局の窓辺から ー山口ー
6. ニュース・エトセトラ
 - 1) 東海アレルギー連絡会「講演会と2007年度総会」のお知らせ
 - 2) 《プチ・カレッジ》アレルギーセミナーのご案内
 - 3) 「食育まつり」報告
7. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します
8. メールマガジン無料会員募集します

☆-----★

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

◆-----◇

☆1. テーマ「アレルギー表示」その2★

◆-----

今年2月中旬に起きた会員のお子さん（当時小学校低学年の男子:卵・大豆・ゴマ・そば・ピーナツ・果物・魚介類にアレルギーがあり）のアレルギー表示に関する事故について報告がありました。

大手量販店の食品売り場にあるアレルギー対応お菓子コーナーで販売をしていた「たまごを使わずに作ったハチミツプリン」を2口食べてすぐに、気持ち悪いと言い、唇もかゆいと言い出した。唇が赤くなり腫れてきたので、常備していたステロイドの飲み薬を飲ませ、落ち着いたという事故でした。

この原材料を確認したところ、アレルギーとして疑えるものは今まで食べたことがなかった蜂蜜だけでした。すぐに購入先に問い合わせをして、製造元で検査キット(2 メーカーの検査キットと、大手量販店独自の検査の3方法)による検査をしてもらったところ、「卵の数値はでなかった」と、店長などが報告書を持って来訪し代金を返金され終わったとのことでした。この間、2週間以内の素早い対処だったそうです。

今回の事故は、①経過後2ヶ月経っていること、②症状が出たときに主治医の診察を受けなかったこと、③食べて症状が出た現物を冷凍保存していなかったこと、④量販店から提出された検査結果の書類を保管していなかったことなど、今から事故について何らかの追求をするのは難しいという結論となりました。

その後、大手量販店の他店舗のアレルギー対応のコーナーについて、会員の方から情報を集めました。大看板（上にかかっている大きなもの）から中看板まで看板は様々な状態で表示しており、アレルギー対応コーナーが無い店舗もありました。アレルギー対応ではない商品がアレルギー商品の場所に陳列してあるなど信頼性に欠ける店もあるもわかりました。結局、あちこちに置いてあるアレルギー対応食品をそれぞれ自分で確認して購入しているという会員の方がほとんどでした。

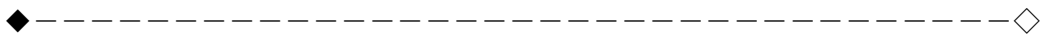
今回の反省すべき点を踏まえて、事故が起きたとき、患者側の対処方法のマニュアル化、大手量販店などに対してのアレルギー対応コーナーの表示の改善提案などに取り組んでいきたいと思えます。

会員の皆さまからのより多くの情報もお待ちしています。

◆-----◇

☆2. アレルギー支援ネットワーク理事の声

ーその6ー 園木理事から みなさまへ★



こんにちは、園木紀子と申します。

アレルギー支援ネットワークの理事となり1年になります。

はじめのころ「ただの人間がアレルギー支援ネットワークにどう関わっていけるのかな」、
「私が理事になることにどんな意味があるのかな」と考えました。

考えましたが、よくわかりませんでした。そして、まずやってみようと思いました。やってみて、何か気づいたり、感じたりしたら、そのときに考えることにしました。

そして、今、思っていることは「アレルギー支援ネットワークの目的を理解し、主体的に関わろうとする気持ちが私にあるかどうかが大切だ」というコト。

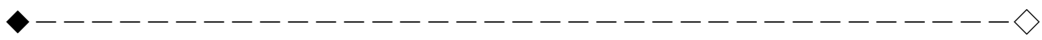
実際に活動していて、そのときそのときに感じるのは「わたし、楽しんでる」という感覚です。よなべして、パソコンに向かっていても「やっぱり、楽しい」。からだの疲れとは裏腹に。この「楽しさ」は、生きる「チカラ」になっているのだらうと思います。

この「楽しさ」を、できるだけ多くの人たちに伝えることが、今のわたしにできるコトかなと思います。焦らず、諦めず、ゆるゆると。

では、これからもよろしくお願いいたします。



☆3. 会員からみなさまへ ★



はじめまして。保育園年長の長男と1歳の次男の母親です。

次男が卵アレルギーとアトピー性皮膚炎、夫がアトピー性皮膚炎と花粉症、私が猫アレルギー・喘息・花粉症を持っています。

次男は卵除去をしており、蕁麻疹がでることはなくなったのですが、肌がとてもかゆい様で、特にお風呂上りから寝付くまではぐずぐずと機嫌が悪く、我慢比べの毎日です。

夫は、建築士ですが、現場作業後に蕁麻疹がでることが多く、ステロイド注射をしてかゆみを抑えることがしばしばあります。

義母の話だと、子供のころは、米を始めとする多種類の食物アレルギーがあり、何を食べさせたらいいのか思い悩んだそうです。

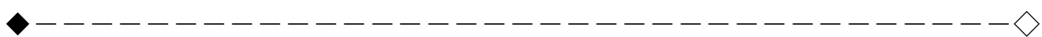
夫ひとりがアトピーだった時は、なにもしなかった悪妻な私ですが、次男の卵アレルギーをきっかけに食生活を大幅に変えました。

今後もしろいろと勉強して行きたいと思っています。

孤独を感じることなく、アレルギーに向き合える今の状況は、アレルギー支援ネットワークや会員のみなさんのおかげです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

まゆにゃんこ



☆4. 賛助会員“積水化学工業株式会社”からのお知らせ ★



賛助会員、積水化学工業株式会社です。

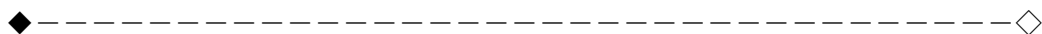
本日は『アレルバスター』製品の紹介です。アレルバスターホームページは下記アドレスです。アレルギー学会などでの発表も一部掲載しております。地道に一步一步研究を積み重ねております。http://i-front.sekisui.co.jp/aller_buster/

『抗アレルギー剤アレルバスター』発売から4年が経過しておりますが、関係メーカー様の協力もあり、アレルバスター関連製品の輪が広がって参りました。現在下記アドレスの『楽天市場』で『アレルバスター』を検索しますと630アイテムほどのアイテムヒットが確認出来ます。一度お試し下さい。ご購入も出来ます。

<http://www.rakuten.co.jp/>



☆5. 事務局の窓辺から 一山口一 ★



私の住む地区では田植えの準備が進み、水が張られた田からはカエルの声も聞こえてきました。梅雨の前の爽やかな季節、いかがお過ごしでしょうか?アレルギー支援ネットワーク事務局の山口です。

「あちこちで勉強させていただいたおかげで、災害への備えと人とのつながりを課題と考えています」と思っていた矢先、おもいもかけず体調を崩しました。注射の一本も打ってもらってくるかと病院へ行ったら、即お泊まり（つまりは入院です…入院なんて出産した時以来）で、ビックリしました。

中学生になったばかりの娘は乳製品・生卵にアレルギーがあるので、除去食をしています。幸い同居の母が食事は作ってくれました。備蓄(?)してある食材もあったので、約2週間を乗り切りました。退院した時は冷凍庫と冷蔵庫が空に近い状態でしたが……。

私のように母と同居の場合は良いかもしれませんが、しかし、『主人だけだったら…』と考えたら、残念ながら当てにならないことこの上ない。少しずつ娘に料理を教え込むことと、外食産業（お惣菜売り場を含む）の知識も必要だと思いました。

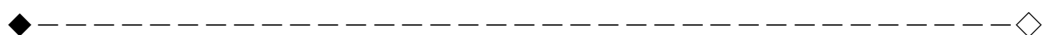
病室の人との会話。

「何で忙しい時に限って入院しなイカンのだろうねえ。暇な時に入院したかったわ」

「忙しいから、体調崩したんじゃないの…?」

「休めって言われても休まんわ…」

皆さんも忙しい日々をお過ごしだと思いますが、自分の体調を大事にすることと、家事が出来なくなる事態に備えておくことを少～し考えてみてくださいね。



☆6. ニュース・エトセトラ ★



1) 東海アレルギー連絡会「講演会と2007年度総会」のお知らせ

※皆さんのご参加をお待ちしています。

開催日:2007年7月15日(日)

開催場所:なごやボランティア・NPOセンター 第1研修室

名古屋市中区栄1丁目23番13 (伏見ライフプラザ 12階) Tel:052-222-5781

参加費:東海アレルギー連絡会会員無料

*会員以外の方の参加費はお一人につき、500円です。

《講演会》 13:30~13:50 メルク社 和田さん
「エピペンの特徴と取り扱い方」
14:00~16:00 浜松医科大学救急医学 青木克憲教授
「災害救急医療とアレルギー」 (仮題)
主催:東海アレルギー連絡会

《総会》 16:10~17:00 1. 2006年度 活動報告および会計報告
2. 2007年度 活動計画および予算案
3. 役員改選

◎東海アレルギー連絡会では、東海・東南海地震に備え「アレルギーっ子の防災」をテーマに、被災時の救急医療体制、食料確保、緊急連絡体制を作る活動をしています。

《東海アレルギー連絡会》

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク (愛知県)、アトピーっ子ママのお茶会 (福井市)、アレルギーっ子の会ぼかぼか(津市)、アレルギーの子を持つ親の会(稲沢市)、まめっこくらぶ(大府市)、アレルギーの会 吉良、あれるぎっこおひさまの会 四日市、アレルギーっ子まりもの会 (北名古屋市)、ウィズ's の会(春日井市)、くらしとアレルギーを考える会(めいきん生協)、みちの会(みちはたこどもクリニック患者会)、岡崎アレルギーの会、海部・津島食物アレルギーの会、多治見アトピっ子会、桑名アレルギーっ子集まれ!、浜松アトピーの会、風の子広場(瑞穂市)、鈴鹿アレルギーネットワーク「あおぞらくらぶ」

※順不同・かっこ内は所在地

《問い合わせ先》 東海アレルギー連絡会 事務局 足代智志(あじろさとし)

〒433-8105 浜松市北区三方原町1942-3 ジェミネビル 88 203号

電話(fax):053-438-2680

Eメール:ajiro@alle-net.com

2) 《プチ・カレッジ》アレルギーセミナーのご案内

気楽に、短時間で、少人数の和気あいあいの雰囲気の中で、子育て世代が身近で関心の高

いテーマについて学ぶセミナーです。

第1回目プレセミナー「アレルギーってなあに？」が、2007年4月7日(土)午前 10:00～11:00 「親子カフェにこ」(名古屋市緑区鳴海町水広下93番地76 ブランジュ水広1階)で開かれました。アレルギーでない方も含め、身近におこるアレルギーを知り、アレルギーに関心を持つきっかけ作りのセミナーでした。

参加者11名の皆さんに、アレルギーの子とその親としての体験に基づいた絵本冊子「ぼく しんぺい」を、熱心に読んでいただきました。読後の感想を話し合う中で、アレルギーについての疑問、アレルギーの人への接し方、医師などへの相談、具体的なスキンケアの方法などが出され、参加者同士がお互いに聞きました。参加者の皆さんからのたくさんの要望にできるだけ応えていきたいと感じています。 園木 紀子

また、これから順次、アレルギー支援ネットワークのスタッフが講師となり、セミナーが開かれます。

2回目は、5月26日(土)10:00～11:00に開催されました。

テーマは子どもの「食物アレルギー」、講師は青木好子(アレルギー支援ネットワーク理事)で、「親子カフェにこ」で開催されました。<http://www.oyakocafe.com/kouza/img/are.pdf>

3回目 7月14日(土)10:00～11:00 テーマ「カビとアレルギー」

講師 栗木成治(アレルギー支援ネットワーク理事)

場所;「親子カフェにこ」

(主催:三木ライフサポート)

3)「食育まつり」報告

4月29日(日)新緑がまぶしい五月晴れの中、名古屋市の鶴舞公園内で「なごや食育まつり～給食って大事だよ～」が催されました。子どもの心と体・健康と食を考える会・名古屋が主催するイベントでした。その事務局メンバーとして活動をしている「アレルギー支援ネットワーク」も参加しました。

当日は晴天に恵まれました。また、小学生の写生大会やお花のフェスティバルなど、他のイベントとも重なり、老若男女、子どもたち(およそ1500人)が食育まつりを訪れました。

子どもも大人も楽しみながら食を考えてもらえるよう、学校給食の試食、保育園給食の試食、食(食育)に関するパネル展示、食物アレルギーに関するパネル展示、子ども対象の工作・魚釣りゲーム、産直野菜・手作りなたね油・手作りソーセージの販売などがありました。食育まつりを訪れた人たちは、美味しい給食の試食に舌鼓をうち、スタンプラリーで、各団体のブース(テント)をまわり、小さなおもちゃとふりかけのお土産をもらって嬉しそうでした。

「アレルギー支援ネットワーク」のブース(テント)では、今年3月に出版しました「アレル

ギー対応給食」教本の紹介をし、アレルギー対応給食の必要性を呼びかけました。
また、アレルギー対応の災害備蓄用アルファ化米 400 食の試食もおこない、備蓄用のアルファ化米にも、食物アレルギー対応の必要性があることをアピールしました。初めてアルファ化米を試食する方が多かったように感じました。
名古屋市内の小中学校では、今年 4 月より給食のアレルギー対応を実施することになりました。アレルギー対応の給食のレベルは、学校によりバラツキがあるようですが、試行錯誤を繰り返しながら、少しずつ対応の幅も広がっていくことを期待しています。また、「アレルギー大学」を継続して開講することによりそのレベルアップのお手伝いをしたいと思っています。

今回の食育まつりでは、給食を作る人、食べる人、食物アレルギーのある人、食べ物を作る人など、いろいろな人との交流をすることができました。そして、この交流によりそれぞれの立場を理解しあうことができるのだなと考えさせられる一日となりました。

事務局 中西

◆-----◇

☆7. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します ★

◆-----◇

《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局（担当：中西）

FAX：0564-55-5702 e-mail：nakanishi@alle-net.com

◆-----◇

☆8. メールマガジン無料会員募集します ★

◆-----◇

メールマガジン無料会員とは・・・

メールアドレス（PC、携帯）を登録した方です。

メールマガジン無料会員に「アレルギー支援ネットワーク通信」（仮称）を毎月1回無料配信します。新鮮な情報を盛りだくさんお届けします。PCにも携帯（一部、表示できない機種があります）にも配信できます。

また、メールマガジンはその時々ニュースだけでなく、HPに掲載されない、読者の皆様だけへの特別割引などのご案内や、地震・水害などの被災時には、安否確認や支援などの媒体として利用をさせていただきます。

お友達やお知り合いの方にも、是非ご紹介ください。どなたでも無料会員になる

ことができます。

PC、携帯のアドレスをお持ちでなくても、郵送でお届けすることができますので、事務局 TEL/FAX : 0564-55-5702 までお問い合わせください。

メールマガジン無料会員登録は HP (<http://www.alle-net.com/>) からどうぞ。
『メールマガジン無料会員』をクリック → 『無料会員とは・・・』をお読みいただき、同意をされる場合は、『申し込み』をクリック → 事務局へのメールのフォーマットに記入・送信 → 登録完了
尚、配信停止もいつでもできます。

▲ 今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いて
アレルギー支援ネットワーク sonoki@alle-net.com (担当：園木) まで
メールをお送りください。

★メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。

★ このメールアドレスは、メールマガジン専用ですので、各窓口の方にご連絡ください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◇☆